

仲間と競争せず、弱い立場の人と共に団結して闘おう。
期間雇用社員、希望者全員が正社員化を。
めざせ、均等待遇、なぐさう差別！ ユニオンは労基法裁判に勝利するぞー！

年末年始繁忙期を振り返る 年賀郵便よりゆうパケット対策が重要に

未来



郵政産業ユニオン
PIWD

全労協・郵政産業労働者
ユニオン長崎中郵局支部
機関紙「みらい」
NO. 4513
25年1月10日(金)
Tel・Fax 095-828-1953
文責 支部書記長

おはようございます。年賀葉書の差出しもほぼ終わり、2024年の年末年始繁忙期（以下年繁）も終了したといえます。


この期間中、多くのお客様対応に当たられた窓口の皆さん、お歳暮ゆうパックや年賀郵便物処理に当たられた郵便関係の皆さん、後方支援をしてくれた総務、計画の皆さん大変お疲れ様でした。年繁について皆さんはどう感じましたか？郵政ユニオンは年繁の問題点・感想を集約しています。皆さんのご意見・感想をお聞かせください。

元旦の年賀葉書の配達数は全国では約4億9千万通（昨年は約7億4千万通）。前年度比66%で前年度より約2億5千万通減少しました。長中局では約67万通。前年度比約69,8%でした。

一方、年末繁忙期（1月24日～12月31日）のゆうパックは前年度比98,2%と前年並み。ゆうパケットは想定を上回る125%でした。年賀郵便物処理での超勤は少なく、27日は3時間超勤になった社員もいましたが、期間を通して多くの社員は2時間以内でした。

また年明けの元旦・3日・4日・6日は、時間外で帰る社員もいるなど繁忙期らしからぬ光景で

した。業務に当たる私たちがとしては比較的平和な年繁で助かりました。



年賀郵便物は、年賀はがき値上げの影響と年賀状じまいの加速により今後増えることはありえないでしょう。既に「お歳暮ゆうパック繁忙」はなくなっています。年賀繁忙は「年末年始繁忙期」という言葉もなくなるの

2024 年末年始繁忙期における
年賀郵便物などの想定と実際の物数 (長中局分)


項目	当初の持出(配達)物数	実際の(持出)物数
年賀郵便物 【12/15(日)～1/7(火)】	86万0千通 (前年118万2千通)	67万通 69,8%
ゆうパック 【11/24(日)～12/31(火)】	10万8562個 (前年10万3879個)	10万2001個 104,5%の想定に対して98,2%
ゆうパケット 【11/24(日)～12/31(火)】	6万8631個 (前年6万0949個)	7万6207個 112,6%の想定に対して125,0%

しかし結果はゆうパックが104,5%予想に対して実績は98,2%と前年度実績さえ割り込みました。一方ゆうパケットは112,6%の想定に対して実績は125,5%(長中局持出し分)と大きく上回りました。特にゆうパケットは前年を下回った日は期間中2日しかなく、平常比200%以上と周知された日も複数回ありました。

配達員の感覚として、またAmazonの利用者の感覚からすると、通販業者は荷物から料金の安いパケット類にシフトしていると感じます。以前Amazonは小さな品物でも大きすぎるくらいこの箱に入れ荷物で発送


だろうと思います。その代わりにAmazonなどネット販売業者のセールに一喜一憂するようになると思います。

昨年、日本郵便は1月19日に「直近の動向及び大口顧客等の差し出し傾向を踏まえて」として当初の予想からゆうパックは2,3%引き上げ、ゆうパケットは逆に15,6%引き下げると通知してきました。



2025年の支部活動は長中局での、元旦早朝ピラ配布からスタートしました。

今年も職場での諸問題に対して交渉などを通じて改善していきたいと思っています。



していましたが、最近では圧縮されパケット類で送られてくるものが多くなりました。このため、大きめのゆうパケットが増え対面配達や持ち戻りが増えました。

今後この傾向は続くと思われず。受け箱に入らないゆうパケットの増加に対する体制の整備を求めます。

期間雇用パート労働者の皆さん！ 困りごとは職場の郵政ユニオンへご相談を。
1集-海江田, 2集-向井, 3集-山田, 支部・分会の役員へ。

郵政ユニオン長崎の
ホームページはこちら

